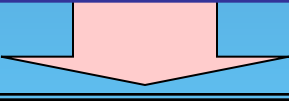
社会医療法人　蘇西厚生会
松波総合病院

急性期医療を担う病院で、
「地域医療ネットワーク」の
確立を目指している

- 2008年10月　社会医療法人取得
- 地域中核病院としての役割を持つ23の診療科の設置
- 432床（急性期病棟377床・回復期リハビリ病棟55床）
- 一日平均入院患者数22.0人、平均在院日数12.15日

背景と目的

2003年：ME室にて集中管理を開始

2008年5～6月：機器の不具合による医療事故報告が連続 4件発生

2008年：管理状況を確認
各部署への貸し出し管理が主であり、
借用・返却は記録のみの管理

2008年：機器の使用状況および保守点検の実態から、機器を一元管理する必要性を感じ、
安全管理を目的とした管理体制の改善を実施

中央管理機器のフロー

病棟、手術室、外来

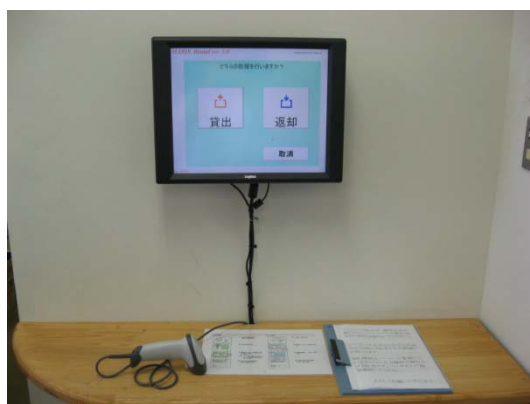
機器搬送　・・看護師、看護助手

貸出・返却登録

ME室

返却業務　　清掃、点検

貸出業務　　貸出棚へ

安全点検システム MARIS(フクダ電子社)

返却・貸出情報

タッチパネル式バーコードリーダー

サーバーコンピューター

輸液ポンプ･シリンジポンプの管理台数

輸液ポンプ　154台（159台）	
TE－161	116台
TE－112	38台（更新予定）
（ドリップアイ）	（5台）
シリンジポンプ　94台	
TE-331	68台
TE-332	10台
TE-311	4台（更新予定）
TE-312	4台（更新予定）
TE-351	5台
TE-361	3台

輸液ポンプ･シリンジポンプの点検状況

日常点検:終業･使用前点検
内容:取扱説明書に従い行う。
（転倒･異常時:流量･閉塞圧･動作点検）

定期点検:　6カ月ごとに行う。
内容:電気的安全確認･流量精度･閉塞圧
気泡センサー点検

ポンプテスター　IDA4
「BIO-TEK社」

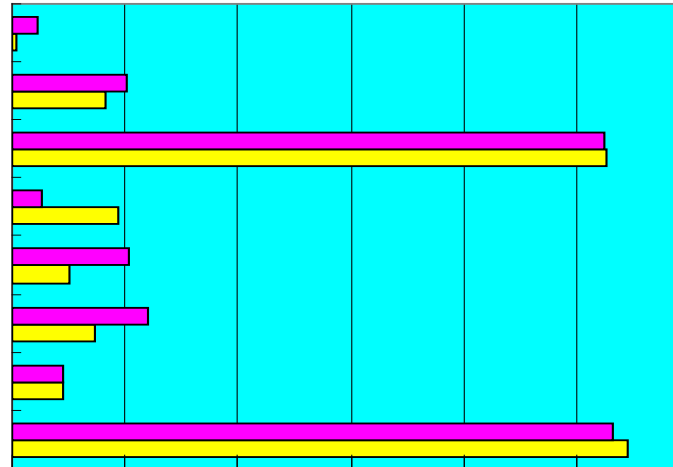
2008.4.1～2010.10.7までの貸し出し点検･定期点検総数

輸液ポンプ点検総数	8,206回
シリンジポンプ点検総数	4,064回

使用された輸液･シリンジポンプは使用が終わるごとにME室へ返却され清掃点検が実施される。また使用中に異常や破損等あった場合はより詳しく点検実施。

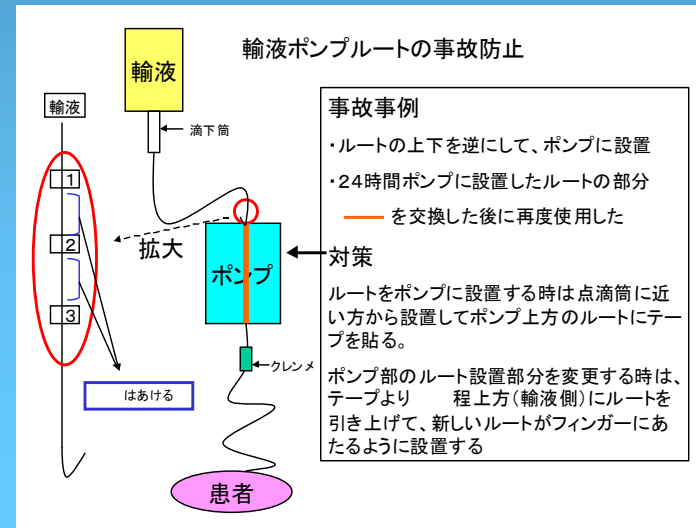
輸液ポンプ･シリンジポンプの点検と貸し出し

		輸液ポンプ		シリンジポンプ	
年度		2008年	2009年	2008年	2009年
点検	院内点検	23台	7台	ー	ー
	委託修理	20台	9台	16台	11台
平均貸し出し日数	回復期リハビリ病棟	13.8日	3.2日	50.3日	6.2日
	急性期一般病棟(8棟)	10.3日	10.4日	9.7日	8.7日
	ICU	17.3日	10.1日	35.0日	13.9日
	救急外来	28.3日	18.4日	14.7日	14.9日
	最大貸出日数	229日	284日	192日	177日

新人の入職時研修

入職6ヵ月後研修センターでの研修

機種変更時の現場講習

医療機器安全セミナー（輸液ポンプ・シリンジポンプ）

手順の伝達

改善後の管理体制

管理の基本 ： 使用した毎に返却し点検

チェック方法 ： 連続使用が長期化した際、ME室より一定期間を過ぎる時点で返却または交換のアナウンスを行なっている。

院内の啓発 ： 中央管理機器の種類を把握し、使用した機器はME室に必ず返却する

（装置自己診断機能が発達したことから、最長貸出期間を10週とし、返却点検をおこなっている。）

考 按

安全点検システムMARISを導入したことで、使用状況や保守点検時期の管理が容易となり、整備の徹底がなされ、機器の不具合による医療医事故は無くなった。ME室での使用前点検の重要性は各部署に浸透したが、病棟間での又貸しをする事象が依然散見されるため、今後の課題としては貸し出し患者のカルテ番号を活用したハード面の対策を検討し、さらなる運用手順の徹底化を図りたい。

MATSUNAMI
GENERAL HOSPITAL